

## 平成 15 年度普及に移す技術

[ 普及に移す技術名 ] ラナンキュラスの小輪多花性花壇用新品種「ガーデンスター」

[ 要約 ] ウマノアシガタ一重の偶発実生の中から花弁が八重の形状を示す変異個体を選抜し、花茎本数や花数が多く、花壇や畦畔の景観形成に利用できるラナンキュラス「ガーデンスター」を育成した。

[ キーワード ] 八重、花壇、ラナンキュラス、ガーデンスター

[ 担当 ] 福井農試・園芸バイテク部・野菜・花き研究グループ

[ 連絡先 ] 電話 0776-54-5100、電子メール h-komori-ve@ain.pref.fukui.jp

[ 分類 ] 普及

---

### [ 背景・ねらい ]

花壇や畦畔の景観形成および公園緑地用には、毎年、定植することなく、生育が早くて病害や雑草に比較的強い宿根草が望ましい。そこで、野生草花の一重のウマノアシガタから、八重咲き小輪多花性で、開花期が比較的長い品種を育成する。

### [ 技術の内容・特徴 ]

#### 1. 育成経過

1995 年に「福井市安波賀産ウマノアシガタ一重」の偶発実生から花弁が八重の形状を示す変異個体を選抜した。1996 年から 2000 年にかけて、その個体の固定並びに増殖を行い、安定的に八重の形質を現す品種を育成した。2001 年に特性検定を行い、優秀性を確認したので、2002 年 2 月にラナンキュラスの新品種「ガーデンスター」として品種登録出願を行った。

#### 2. 特性の概要

1) 露地での開花期間は 4 月中旬から 5 月下旬で、花茎が次々と多く立ち、多花性で開花期間が比較的長い。草丈は 40 cm 以下で、葉数は多い(表 1、図 1)。

2) 花弁の色は一重のウマノアシガタと同じ鮮黄色の単色である。花径は 2 cm 以下と小さく、花弁の長さも短い(表 2)。

3) 花弁の数は一重のウマノアシガタの 5 枚に比べ、128 枚と非常に多く、花弁には強い光沢がある(表 2、図 1)。

4) 2 月中旬から最低温度 15℃ で加温栽培すると、約 1 ヶ月後の 3 月中旬から開花する促成栽培が可能である(表 3)。

### [ 技術の活用面・留意点 ]

1. 花壇や畦畔の景観形成などに利用できる。

2. 繁殖の方法は株分けで行い、年間 7~8 倍に増殖し、砂地以外の畑地や水田転換畑で栽培が可能である。

3. 生育は早く、栽培は容易で、耐寒性も強いが、開花期にハモグリバエ類の防除が必要である。

4. 福井県の職務育成品種のため増殖には許諾契約が必要である。

[ 具体的データ ]

表1 露地栽培における開花時特性 (2001、2002年平均)

品 種 名	開花期間		草丈 (cm)	葉高 (cm)	株 幅 (cm)	葉 数	花 茎			
	始期	終期					本 数	長さ(cm)	太さ(mm)	花 数
ガーデンスター	4/15	5/31	38.6	15.2	33.1	85.8	15.4	37.8	4.9	20.4
一重ウツギカタ	4/9	5/16	37.3	15.5	33.5	46.1	7.6	36.6	5.0	19.1
半八重ウツギカタ	4/21	5/25	41.7	15.5	31.7	42.3	6.0	41.0	6.2	19.7

注1)2000年11月7日、2001年11月9日に定植。

注2)白黒マルチ栽培、畝幅1.5m×株間30cm 2条植え

草丈は開花時における株の地際から植物体最高部までの高さ。

開花時における低出葉の株の地際から葉の最高部の高さ。

表2 開花時の花の特性 (2001年)

品 種 名	花弁の色	花弁数	花径 (cm)	花弁の 長さ(cm)	花弁の 幅(cm)	がく片の 大きさ(cm)
一重ウツギカタ	鮮 黄	5.0	2.9	1.3	0.9	0.8
半八重ウツギカタ	鮮 黄	22.3	2.3	1.2	0.9	0.7

花弁の色は日本園芸植物標準色標による。

注1)2000年11月7日に定植。

注2)白黒マルチ栽培、畝幅1.5m×株間30cm 2条植え

表3 ガーデンスターの栽培環境と開花時特性 (2002年)

栽培環境	開花日 (月/日)	草丈 (cm)	葉高 (cm)	株 幅 (cm)	葉 数	花 茎			
						本 数	長さ(cm)	太さ(mm)	花 数
加温ハウス栽培	3/16	23.2	8.1	24.0	33.5	2.3	22.5	2.6	9.5
無加温ハウス栽培	4/7	36.7	8.9	26.0	26.8	2.2	36.0	2.9	14.1
露地栽培	4/12	38.3	17.7	34.9	72.9	15.8	37.6	4.3	17.2

注1)無加温ハウス栽培は、15cmポットに鉢上げした株を2001年10月16日から無加温ハウスで栽培。

注2)加温ハウス栽培は、上記無加温ハウス内の株を2002年2月15日から最低温度15℃に加温栽培。

注3)露地栽培は、2001年11月9日に定植。

開花日は第1花茎の花が3輪開花した日とした。



図1 「ガーデンスター」の草姿(左)と花弁数の比較(左から半八重、ガーデンスター、一重)

[ その他 ]

発表論文等：品種登録出願中(2002年2月4日、第14377号)